

七夕能

KAMIASOBI The 10th stage
"TANABATA NOH"

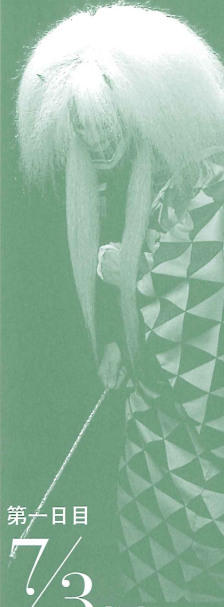
演出 観世榮夫
企画 神遊

はい、神遊です。
お能三つお届けします。
場所は新宿、
パークタワーホールですね…

昔、お殿様の命令で、お能はいつでもどこでも、どんな形でも上演されるものでした。時代は流れ、いつしかお能は敷居の存在になつてしまいました。2000年、夏、神遊はそんなイメージに挑戦します。七夕能としてみませんか？「黒塚」金春流、「小鍛冶」を喜多流で、そして観世流「鶺鴒」どれも心をこめた手作り…流派の競演を神遊がお届けします。

黒塚

諸国遍歴の旅に出た紀州の山伏・祐慶一行は、陸奥・安達原で行き暮れ、とある家に宿を借りた。糸繰りをつつ物語を聞かせる女主人は、何やら由緒ありげな様子。そして、山伏一行をもてなすために、薪を取りに行くが寝所は決して覗くなど言い残して出て行く。が、約束を破って寝所を開けた祐慶一行が見たものは…



第一日目
7/3 [月]

解説* 観世喜正
一調(宝生流) 八島
朝倉俊樹
小鼓 宮増新一郎
狂言(和泉流) 佐渡狐
野村萬斎
高野和憲
深田博治
小川七作
能(金春流) 黒塚雷鳴之出
高橋 忍
殿田謙吉
梅村昌功
野村萬斎
一噌隆之
宮増新一郎
柿原弘和
観世元伯
後見 金春安明
横山紳一
辻井八郎
山井綱雄
井上貴覚
本田芳樹
金春憲和
中村昌弘

*解説は各日のみどころと能装束、能面について

小鍛冶

一条院の勅命を受けて、剣を打つ事となった三条の小鍛冶・宗近は途方に暮れていた。帝の剣を打つには、相当な相槌(鍛冶の相方を勤める者が必要な)に、どうしても見つからない。思い余った宗近が稲荷明神に祈願すると、一人の童が宗近を安心させる。帰宅した宗近の前に、狐(稲荷明神)が現れて相槌を打ち、小狐丸と銘打った剣が出来あがった。



第二日目
7/4 [火]

解説 観世喜正
一調(宝生流) 笠之段
朝倉俊樹
大鼓 柿原弘和
狂言(大藏流) 附子
山本泰太郎
加藤 元
遠藤博義
能(喜多流) 小鍛冶白頭
中村邦生
森 常好
館田善博
山本泰太郎
一噌隆之
宮増新一郎
柿原弘和
観世元伯
後見 粟谷明生
粟谷浩之
長島 茂
狩野一
友枝雄人
金子敬一郎
内田成信
粟谷充雄

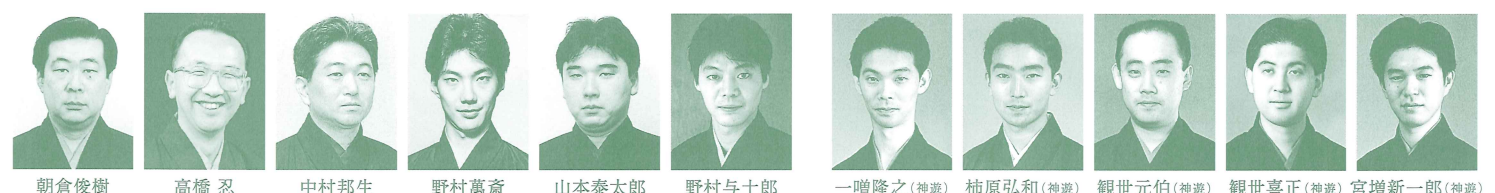
鶺鴒

安房国・清澄の僧は甲州行脚に出、石和川の辺の堂に宿を取っていると鶺鴒の老人がやって来た。先年世話になった者ではと声をかけた僧に、老人は、禁狼を犯して殺されたその鶺鴒の亡霊であると答えて消える。僧が、小石の一石に法華経の一字を書き付けて回向すると、閻魔大王が現れて、老人が法華経の功德により成仏したと言ふ。



第三日目
7/5 [水]

解説 観世喜正
一調一管 唐船
朝倉俊樹
一噌隆之
観世元伯
狂言(和泉流) 棒縛
野村与十郎
小笠原 匡
野村万祿
野村晶人
能(観世流) 鶺鴒真如之月
観世喜正
宝生欣哉
大日方 寛
野村与十郎
一噌隆之
宮増新一郎
柿原弘和
観世元伯
後見 観世喜之
古川 充
上田公威
藤波重彦
奥川恒治
遠藤喜久
鈴木啓吾
佐久間二郎



朝倉俊樹 高橋 忍 中村邦生 野村萬斎 山本泰太郎 野村与十郎 一噌隆之(神遊) 柿原弘和(神遊) 観世元伯(神遊) 観世喜正(神遊) 宮増新一郎(神遊)



PARK TOWER HALL

JR新宿駅南口から甲州街道沿い初台方面に徒歩15分
西口エルタワー1階三和銀行前よりOZONEバス(無料)
約10分間隔で運行(10:10~18:50)
*首都高速4号線南ランプから31分(駐車場260円/30分)

平成12年 7月3日[月]4日[火]5日[水] 開演7:00/開場6:00
パークタワーホール 特設舞台(新宿パークタワー3階)
東京都新宿区西新宿3-7-1 (03-5322-6633)

5500円(全席指定) お問い合わせ・お申し込み 神遊 03-5227-1830
パークタワーホール 03-5322-6633/チケットぴあ 03-5237-9988

静岡県金谷町のお茶のサービスがあります
主催=東京ガス都市開発株式会社・神遊/協力=座・SQUARE
English Program Available